

活動事例紹介



沼辺地区地域資源保全隊（村田町）

地区概要	取組面積：196.0ha（田 196.0ha） 資源量：開水路 76.2km パイプライン 0.0km 農道 60.1km ため池 3 箇所
平成 26 年度交付金	農地維持支払交付金 2,940 千円 資源向上支払（共同活動）交付金 2,352 千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 - 千円
地域の概要	沼辺地区は宮城県村田町の南部に位置し、周囲を低山地に囲まれた地形の水田地帯です。
取組みの概要	活動組織は自治体の 4 行政区を活用し、構成員 268 名で農地及び農業用施設の保全・維持管理活動等を行っています。 基礎活動では、側溝・排水路の土砂上げ、農道や溜池の草刈り、農道の砂利敷き、施設の点検、他組織との勉強会の開催を実施、保全活動では、植栽活動、生きもの調査等、学校や行政との連携を図りながら活動をしております。
取組みによる効果	本事業に取り組んでからは、地域一体となることで大きな力となり、個々の問題や課題の解決に向けた取組みに発展するなど、地域が年間を通じて積極的に施設の維持管理に務め、行政に頼ることのない活動を意識して行っています。
課題	近年の活動においては、機械による作業が重要視されていますが、機械操作の有資格者が不足していることから、現在でも手作業による活動が中心となっています。機械を使用する地域もありますが、一部に限られており、高齢化や作業効率等を踏まえれば、資格者の育成が急務と考えています。
その他	学校教育関係において、農業に携わる楽しさを子供たちに学んでもらうために様々な取り組みを実施しており、村田第二小学校の 6 年生 21 名が卒業記念として学校農園の看板作製のアイデアを受け、本事業で取り組んでみました。 看板の製作には、仙南中央森林組合の協力をいただき、6 年間沢山の野菜を収穫してきた畑、農作業の指導をしていただいた農家の方への感謝と野菜作りの楽しさを知ってもらいたいという思いを形に残すために、全員で出し合って決めたデザインを元にして製作にあたっています。 この看板を見るたびに、地域の子供達、住民が食料や環境保全に関わる農業について、少しでも考えてもらえたらうれしく思います。 今後も活動を通して、地域が一体となり農業に取り組みやすい体制と環境を作り上げていきたいと考えています。



土砂上げ、草刈り、砂利敷きなどの基礎活動



生き物調査



卒業生による看板製作